

平成29年度第1回

高松市美術館協議会資料

美術館美術課

目 次

平成28年度事業報告

1 高松市美術館	
(1) 展覧会・貸館	2
(2) 講演会・講座等	4
(3) 芸術的催し物	11
(4) 施設の提供	12
(5) 美術資料の収集	12
(6) 美術館ボランティアの活動	13
(7) 高松市美術館サポートショップ事業	14
2 高松市塩江美術館	15

平成29年度事業計画

1 平成29年度美術館の運営方針	20
2 高松市美術館	20
3 高松市塩江美術館	23
4 平成29年度予算	25

平成 2 8 年度事業報告

平成28年度事業報告

1 高松市美術館

高松市美術館の利用者数 147,026人

(1) 展覧会・貸館

美術館主催展として特別展及び常設展を開催するとともに、貸館として一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリーを美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

◎ 展覧会

開催展数：63展（貸館、共催展を含む）

開催延日数：775日間

入場者数：121,783人（1日平均 157人）

ア 特別展

開催展数：6展 開催日数：192日間 入場者数：40,495人（1日平均 210.9人）

展覧会名	会期	日数	入場者数(人)	展覧会の内容
瀬戸内国際芸術祭 2016連携事業 リニューアル オープン記念 高松市美術館コレクション展 —いま知りたい、私たちの「現代アート」	3/26(土)～ 4/17(日) (但し、3/31 まではH27 年度会期)	17日	3,302	リニューアルオープンを記念し、国内外から高い評価を受けている高松市美術館の現代アートコレクションから約110点をセレクトして展示。海外でも人気の田中敦子《電気服》をはじめ、村上隆、奈良美智、ヤノベケンジなど日本の現代美術の流れを紹介した。 《特別展示》 「四次元の読書展Ⅱ」（藤本由紀夫、杉山知子） 3/26～4/17の間1階図書コーナーにて開催
オランダ・エッシャー財団所蔵 「エッシャーの世界」	4/23(土)～ 5/29(日)	32日	12,199	“トロンプ・ルイユ（だまし絵）”の画家として日本でも親しまれているオランダの版画家マウリッツ・コルネリス・エッシャー（1898-1972）。オランダのエッシャー財団が所有するコレクションから厳選した版画作品に加え、実際にエッシャーが使用した道具やスケッチや制作メモ等の資料合わせて180点で構成、展示した。
瀬戸内国際芸術祭 2016連携事業 ヤノベケンジ シネマタイズ	7/16(土)～ 9/4(日)	51日	13,401	1990年代から現代に至るまで日本の現代アートをリードし続けるアーティスト・ヤノベケンジ（1965-）。小豆島での展示など香川との関係も深いヤノベの四国における初の大規模個展。現実をフィクションやファンタジーのように変える、ヤノベの創造の軌跡を、シネマタイズ＝映画化という視点で再編する。初期から最新プロジェクトまでの実作の展示に加え、展示室他で映画『BOLT』（林海象監督）の撮影も行われ、美術館自体が映画的空間と化する画期的な展覧会となった。

瀬戸内国際芸術祭 2016 連携事業 高松コンテンポラリー アート・アニヴァーサリー vol.05 展	10/8(土)～ 11/6(日)	30 日	2,666	瀬戸内国際芸術祭開催の 2010 年に、本格開催した「Vol.01」に始まり、今回の「Vol.05」は同祭 2016 秋会期と時期を同一に開催。「見える風景/見えない風景」をテーマに流麻二果、伊藤隆介、谷澤紗和子、来田広大の 4 人と建築家グループのドットアーキテクツの 1 組を招待。会期中、アーティストトークやワークショップなどを実施。
奇才・ダリ版画展	11/12(土)～ 12/18(日)	32 日	6,693	20 世紀を代表する芸術家の一人サルバドル・ダリ (1904-1989)。本展では、円熟期から晩年にかけて制作された木版、銅版などの版画作品に彫刻作品を加えた約 200 点を展示し、ダリの創造した不思議な幻想世界を紹介。
北原千鹿展	H29 年 2/21(火)～ 3/26(日)	30 日	2,234	高松出身の北原千鹿 (1887-1951) は、昭和初期に工芸グループ「无形 (むけい)」や「工人社」を結成し、工芸界に大きな足跡を残した。本展は、千鹿の初期から晩年に至る代表作約 80 点と下図 55 枚によって、その画期的な美の仕事を辿った。
		192 日	40,495	

イ 常 設 展

開催展数：5 展 開催日数：291 日間 入場者数：22,492 人 (1 日平均 77.3 人)

展覧会名	会 期	日 数	入場者数 (人)	展 覧 会 の 内 容
第 1 期	4/21(木)～ 6/19(日)	52 日	5,726	常設 1 記憶と気配 常設 2 蒔醤の系譜
第 2 期	6/25(土)～ 9/11(日)	75 日	6,658	常設 1 ぎゅぎゅっと。集まれ、陶！ 常設 2 ひんやり、金工を愛でる
第 3 期	9/15(木)～ 10/23(日)	56 日	1,953	常設 1 光の画家－木村忠太 常設 2 彫漆の世界－音丸耕堂
第 4 期	10/26(水)～ 12/25(日)	54 日	4,818	常設 1 版画の技法－ピカソ、マティス、 カンディンスキーからウォーホルまで－ 常設 2 朱と黒－香川漆芸の粋
第 5 期	H29 年 1/5(木)～ 3/26(日)	54 日	3,337	常設 1 筆触と身体－中西夏之を中心に－ (1/5～3/12) 第 34 回日本伝統漆芸展 (3/15～3/26) 常設 2 讃岐漆芸にみる飛翔するイメージ
		291 日	22,492	

ウ 共 催 展

「日本スロベニア Art-〈〈美の躍動〉〉展」

会 期：6 月 2 日 (木)～12 日 (日) (10 日間)

入場者数：3,171 人 (1 日平均 317.1 人)

エ 貸 館

(ア) 一般展示室・企画展示室

開催展数 14 展 開催日数 62 日間 入場者数 26,633 人 (1 日平均 429.6 人)

展 覧 会 名	会 期	日数	入場者数 (人)	展 覧 会 の 内 容
第 6 回一榮書道展	6/17～6/19	3 日	571	同会会員の書の作品
第 58 回墨華書道展	9/14～9/19	6 日	1,720	同会会員の書の作品
第 43 回高松市民美術展	9/22～9/25	4 日	1,330	市民による美術展
第 33 回香川県高等学校 総合文化祭書道展	12/22～12/25	4 日	747	県内高校生の書の作品展示
第 33 回香川県高等学校 総合文化祭美術・工芸展	12/22～12/25	4 日	1,064	県内高校生の美術・工芸作品展示
香川県小中学校総合文化祭	1/7～1/11	4 日	5,920	県内小・中学校児童、生徒の作品
高松市教育文化祭展	1/7～1/11	4 日	5,536	県内小・中学校児童、生徒の作品
日洋会瀬戸内支部高松展	1/14～1/21	7 日	1,034	同会会員の絵画作品
第 22 回硯友展	1/24～1/29	6 日	1,717	同会会員の書の作品
第 43 回毎日書道学会展	2/3～2/5	3 日	882	同会会員の書の作品
青澄かな書作展	2/10～2/12	3 日	3,526	同会会員の書の作品
日本墨彩画院展	2/15～2/19	5 日	761	同会会員の絵画作品
第 21 回珊瑚会展	3/3～3/5	3 日	364	同会会員の書の作品
日本美術家連盟 香川作家展	3/15～3/20	6 日	1,461	同会会員の絵画作品
		62 日	26,633	

(イ) 市民ギャラリー

開催展数 37 展 開催日数 220 日間 入場者数 28,992 人 (1 日平均 131.8 人)

(2) 講演会・講座等

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やトーク、パフォーマンス等を開催した。また、小学生を対象とした「子どものアトリエ」や各種ワークショップ等を開催した。

ア リニューアルオープン記念事業

開 催 日	出演者	内 容	場 所	入場者数
4/2(土)	柿崎麻莉子	コンテンポラリー ダンス公演「箱庭」	エントランスホール	161 人

イ 記念講演会等

開催日	講師・出演者	内 容	入場者数
4/2(土)	篠原資明 (当館館長)	新しみつつ振りかえる現代アート	30人
4/29(金)	安田恭子(佐世保市博物館 島瀬美術センター館長)	エッシャー その作品と生涯	60人
5/28(日)	野坂悦子(翻訳家・作家)	エッシャーの国、絵本の国、オランダ	80人
8/7(日)	ヤノベケンジ(美術家) 南正邦(彫刻家)	・人生は映画のように 129人 ・ヤノベケンジ×矢延平六 リサーチプロジェクト 70人	199人
10/8(土)	アニュアル展全出品作家 篠原資明(当館館長) 藤浩志(本展アドバイザー)	アーティスト&アドバイザー・トーク I	30人
10/30(日)	家成俊勝・土井亘(ドットアー キテクト/出品作家) 木ノ下智恵子(本展アドバイザー)	アーティスト&アドバイザー・トーク II	25人
11/27(日)	速水 豊 (三重県立美術館館長)	サルバドール・ダリ ー 絵画の彼岸	45人
2/25(土)	樋田豊次郎 (東京都庭園美術館館長)	昭和モダニズムと千鹿	60人
参加延べ人数			529人

ウ 館長講座「まぶさび教室」

開催日	講師	テーマ	内 容	入場者数
11/5(土)	篠原資明 (当館館長)	現代における 美への問いかけ	透きとおる ～透明素材のもたらすもの デュシャンから杉本博まで	43人
12/3(土)			まばゆさ ～光と反射・反映 都市環境からアートまで	45人
1/7(土)			動き ～運動と時間の表現をめぐって 映画・映像・メディアとアート	53人
2/4(土)			奥行～奥行き表現の変遷 絵画とその周辺	49人
3/4(土)			美の行方 ～哲学的な背景から探る	55人
参加延べ人数				245人

エ ギャラリートーク

(ア)特別展

展覧会名	トーカー	開催回数	参加者数
コレクション展	担当学芸員	1回	25人
エッセナーの世界	担当学芸員	2回	73人
ヤノベケンジンネマタイズ	担当学芸員	2回	50人
高松コンテンポラリーアート・ アニュアル vol.05	担当学芸員	1回	15人
奇才・ダリ版画展	担当学芸員	2回	65人
北原千鹿展	担当学芸員	1回	30人
合 計		9回	258人

(イ)常設展

展覧会名	開催日	トーカー	参加者数
常設1期	5/8(日)	担当学芸員	15人
常設2期	8/27(土)	担当学芸員	7人
常設3期	9/25(日)	担当学芸員	9人
常設4期	11/5(土)	担当学芸員	11人
常設5期	2/4(土)	担当学芸員	10人
第34回 日本伝統漆芸展	3/18(土)	山下義人(重要無形文化財保持者)	35人
	3/25(土)	大谷早人(日本工芸会漆芸部会常任幹事)	20人
合 計			107人

オ ワークショップ

開催 月日	講 師	内 容	対 象	場 所	参加 者数
4/10(日)	田中梨枝子 (ミュージアム・エ デュケーター)	こども+開室記念WS	参加自由	エントランス ホール	70人
5/5(木)	南正邦(彫刻家)	立体トリックアート に挑戦! エッセナーの錯覚を つくる?	小学生	3階 講座室3・4	15人

5/28(土)	野坂悦子 (翻訳家・作家)	オランダ帽子を 作ろう！	3歳～小学生 (未就学児は 保護者同伴)	中2階 こども+	14人
8/6(日)	ヤノベケンジ (美術家) 南正邦(彫刻家)	水の神様を つくろう！	小学3年生～ 高校生	3階 講座室3・5	15人
10/8(土)	ツアーアーティスト： 流麻二果、ドットアーキテ クツ、谷澤紗和子、 来田広大 ナビゲーター：田 中裕人(一時画伯 代表)、協力：一 時画伯	アーティストによる、 中学生のための アート・ツアー 「一時画伯」	高松市立下笠居中 学校、高松市立紫雲 中学校、香川大学教 育学部附属高松中 学校	2階展示室	15人
10/8(土)	伊藤隆介 (出品作家)	手描きのアニメを 作ろう！	小学生～大人	3階会議室	11人
10/9(日)	来田広大 (出品作家)	公開制作+ ワークショップ 鳥の目になって 地図を描く	参加自由	1階 エントランス ホール	35人
10/30(日)	ドットアーキテク クツ(出品作家)	EXPLORING THE CITY	小学生～大人	3階講座室他	8人
12/11(日)	アトリエ凹凸	銅版画 ワークショップ	中学生以上	3階講座室	18人
3/5(日)	山下晴義 (金工家)	彫金でペンダントを 作ろう！	小学5年生以上	3階講座室	19人
3/11(土)	モーネ工房 (井上由季子、 井上正憲)	コミュニケーション ワークショップ ありがとうを伝える カード	中学生～大人	1階講堂	35人
3/11(土)	モーネ工房 (井上由季子、 井上正憲)	コミュニケーション ワークショップ によきによき木のカ レンダー	未就学児～小学生	中2階 展示ロビー	24人
3/26(日)	浅野有紀 (日本画家)	はじめての日本画	小学4年生～大人	3階講座室	16人
参加延べ人数					295人

カ 子どものアトリエ

開催月日	講師	テーマ	対象	場所	参加者数
5/8(日)	井本英樹 (美術作家)	不思議なビー玉迷路	小学生以下の親子	3階 講座室3・4	18人
8/27(土)	太田絵美子(芸術 士)、松尾由美(芸 術士)	こどもりゅうに 変身！	3歳～小学3年生	こども+、 中2階 展示ロビー	16人
10/9(月)	谷澤紗和子 (出品作家)	光のどうぶつ	5歳児～大人 (未就学児は 保護者同伴)	1階講堂	25人
参加延べ人数					59人

キ アートで遊ぼう！

	開催月日	講師	内容	場所	参加者数
前期	5/3(火)	当館学芸員ほか	エッシャーの世界	3階講座室2	11人
	6/4(土)	当館学芸員ほか	第1期常設展	こども+	10人
	7/23(土)	当館学芸員ほか	ヤノベケンジ シネマタイズ	3階講座室3.4	12人
後期	10/22(土)	当館学芸員ほか	高松コンテンポラリー アート・アニュアル vol.05	2階展示室、 こども+	3人
	11/26(土)	当館学芸員ほか	奇才・ダリ版画展	2階展示室、 こども+	10人
	12/24(土)	当館学芸員ほか	4期常設展	2階展示室、 こども+	8人
番外編	5/24(火)	当館学芸員ほか	はじめてアート エッシャーの世界を体験！	こども+	6人
	H29年 3/25(土)	当館学芸員ほか	北原千鹿展	2階展示室、 講座室	12人
参加延べ人数					72人

ク ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより新設された「こども+（こどもアートスペース）」において、アートプログラムを開催。

毎週木・土曜日 12:00~16:00 延べ804人参加

内 容
ポスターで紙袋をつくろう
なりきりボウシと太陽のコマをつくろう
オリジナルブックカバーをつくろう
クリスマスに贈るグリーティングカードを作ろう
くるくるまわせ！かざみドリ

ケ 出前講座

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数
7/31(日)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	香西校区 新田自治会場	28人 (子ども含む)
8/8(月)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	浅野放課後 児童クラブ	57人 (子ども含む)
9/15(木)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	多機能ホーム ヒマワリ	13人

10/7(金)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	一丁地集会所	10人
12/13(火)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	老人介護支援センター なでしこ香川	12人
2/21(火)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	高松市民病院 精神科デイケア	4人
参加延べ人数				124人

コ 美術館学習等

サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続き美術館での学習を希望する小学校を受け入れ（サンクリスタル高松－美術館間の交通費を負担）、展覧会の団体鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行った。

6月8日から12月6日まで、参加校：8小学校 延べ人数：666人（引率者を含む）

（参考：サンクリスタル学習以外の美術館学習 参加校24校、延べ1,004人）

サ 学校との連携事業

開催日	出席者	内容	開催場所	参加者数
7/23(土)	高松市立桜町中学校 香川大学附属高松中学校 高松大学の生徒・学生、職員	特別展「ヤノベケンジシネマタイズ」を鑑賞し、新聞紙を使って放射能防護服を制作するワークショップを行った。参加者(小学生)の制作補助スタッフとして活動。	3階 講座室3・4	20人
8/6(土)	博物館実習生、 高松短期大学の学生、教員	「美術館の日」のイベント(ミニコンサート、スタンプラリー、ふらっとアート、ワークショップ)の運営補助。	1階講堂 中2階子ども+ 3階講座室	21人
10/8(土)	高松市立下笠居中学校 高松市立紫雲中学校 香川大学附属高松中学校の 生徒、教員	特別展「高松コンテンポラリーアニュアルVol.05」の出品作家による解説を交えたアートツアーを行った。	2階展示室	15人
10/8(土)	高松市立下笠居中学校 高松市立紫雲中学校 香川大学附属高松中学校の 生徒、教員	特別展「高松コンテンポラリーアニュアルVol.05」の出品作家伊藤隆介による手描きのアニメを作るワークショップを行った。参加者(小学生)の制作補助スタッフとして活動。	3階会議室	15人
10/22(土)	鑑賞教育に関心のある 教師の方々 小学校図画工作担当教師 中学校美術担当教師 美術館学芸員など	・特別展「高松コンテンポラリーアニュアル vol.05」見学。 ・子どもアートスペースにて作品鑑賞をふまえた作品制作。 ・意見交換会。	2階展示室 中2階子ども+	1人
3/25(土)	高松市立 高松第一中学校の 生徒、教員	特別展「北原千鹿展」の作品をスケッチしてモビールを作るワークショップを行った。参加者(小学生)の制作補助スタッフとして活動。	中2階子ども+	13人
参加延べ人数				85人

シ 美術館の日

「美術館の日」（8月第1土曜日 8月6日）に、展覧会の観覧料を無料としたほか、「ふらっとアート」など、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催した。

特別展観覧者 1,209 人、ミニコンサート鑑賞者 144 人、展示室での鑑賞を促す鑑賞カード利用者 353 人、ふらっとアート参加者 246 人などの来館者があった。

ス 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

博物館実習の実施については、東北芸術工科大学ほか5大学から博物館実習生6名を受け入れた(8/2～8/7)。また、インターンシップ実習生4名(8/15～26日)、高松短期大学の学生ボランティア8名(7/23、8/6、10/15)をそれぞれ受け入れた。

中学生の職場体験としては、高松市立太田中学校ほか6校から延17名の中学生を受け入れた。(9月～平成29年1月)

セ 美術館友の会イベント

内 容	開 催 日	行 事 名	講師・出演者等	関連する展覧会	参加者数
友の会 スペシャル イベント	4/30(土)	「スペシャル ギャラリートーク」	安田恭子 (佐世保市博物館島瀬美術センター館長)	エッシャーの世界	26 人
	7/16(土)	「林海象×永瀬正敏 ×ヤノベケンジ トークショー」	林海象×永瀬正敏×ヤノベケンジ	ヤノベケンジ シネマタイズ	190 人
	10/30(日)	「拡張する芸術の魅力～ 造船所跡地・えきと アートの親和性」	木ノ下智恵子 (「高松コンテンポラリー アート・アニュアル vol.05」アドバイザー)	高松コンテンポ ラリーアート・ア ニュアル vol.05	30 人
	12/17(土)	「奇才・ダリ版画展 作品レクチャー」	橘 美貴 (「奇才・ダリ版画展」 担当学芸員)	奇才・ダリ版画展	41 人
	3/18(土)	ワークショップ 「銅版画レリーフを 作ろう！」	山下晴義(金工家)	北原千鹿展	14 人
友の会 美術 鑑賞旅行	10/27(木)	奈良アート紀行 (奈良国立博物館、東大寺ミュージアム等)			26 人
	2/18(土)	高松アート紀行 (イサムノグチ庭園美術館、川島猛アートファクトリー等)			39 人
参加延べ人数					366 人

(3) 芸術的催し物

ア ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサート等を開催した。

内 容	開催日	行 事 名	監修・出演等	関連する展覧会	入場者数
ミニ コンサート	4/30(土)	「エッシャーと音楽の メタモルフォーシス」	青山夕夏 他	エッシャーの 世界	90 人
	8/6(土)	「音楽の冒険に出かけよう」	みゅーじっく すぺーす・ コモド	美術館の日	144 人
	10/15(土)	「瀬戸内国際芸術祭 2016」 香川大学 提案プロジェクト事業 フルートとギターデュオ・ コンサート 「海の思い出」	青山夕夏 上垣内寿光	高松コンテンポ ラリー アート・アニュ アル vol. 05	87 人
	11/26(土)	「オーボエが奏でる風景」	舩津美雪 大山まゆみ	奇才・ ダリ版画展	113 人
	3/4(土)	「伝統から未来へ繋ぐ コンサート」	青木香璃 他	北原千鹿展	110 人
ダンス公演	10/8(土)	「よそごとでない地 Too Close to Home」	遠田誠 鈴木美奈子	高松コンテンポ ラリー アート・アニュ アル vol. 05	60 人
参加延べ人数					604 人

イ 美術館友の会との共催によるエントランスホール催し

内 容	開催日	行 事 名	主 催	入場者数
友の会ふれあい コンサート	10/1(土)	「オータムナイト」	高松市美術館 友の会	118 人
	2/4(土)	よんでんアンサンブルコンサート	高松市美術館 友の会	150 人
参加延べ人数				268 人

(4) 施設の提供

美術館の講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。また、図書コーナー、こども+(こどもアートスペース)を一般利用者に開放した。(※有人開室日のみ)

施設名	利用回数等	利用人数
講堂	146回	3,126人
講座室	687回	9,508人
図書コーナー	227日	3,647人
こども+(こどもアートスペース)	144日(※)	1,776人(※)

(5) 美術資料の収集

ア 収集の方針

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代に至る作品を版画で系統的に収集する。

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努める。また、二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集する。

(美術品)

(単位 点)

区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計	
平成28年度購入	4	—	—	—	—	4	
平成28年度寄贈	7	—	—	9	—	16	
平成28年度合計	11	—	—	9	—	20	
累計	777	46	251	523	16	1,613	
内訳	購入	631	24	223	390	12	1,280
	寄贈	146	22	28	133	4	333

(図書)

(単位 冊)

区分	購入	寄贈	除籍	計	累計
美術図書	453	182	—	635	30,988
展覧会図録	—	515	—	515	17,581
合計	453	697	—	1,150	48,569

■新規収蔵作品

区分	種別	作品名 (制作年)	作家名
購入	洋画 (平面・油彩)	Les amies (2016)	はしづめ さい 橋爪 彩
		辻を逸れる (2015)	なが まにか 流 麻二果
	洋画 (平面・写真)	My Grandmothers MINEKO (2002)	やなぎ みわ
		Fairy Tale Untitled IV (2005)	やなぎ みわ
寄贈	洋画 (平面・油彩)	ピレネーの近く (1980)	きむら ちゆうた 木村 忠太
		真昼 (1987)	きむら ちゆうた 木村 忠太
		リュクサンブールの庭 (1987)	きむら ちゆうた 木村 忠太
		無題 (1981-82)	きむら ちゆうた 木村 忠太
		丘 (1985)	きむら ちゆうた 木村 忠太
	洋画 (平面・写真)	慧可断臂図 折かわり絵 (2016)※4点組	ふくだ みらん 福田 美蘭
		四季山水図 (2016)※4点組	ふくだ みらん 福田 美蘭
	工芸(漆芸)	蒔醬 櫻花惜別 盆 (2001)	いそい まさみ 磯井 正美
		蒔醬 梅花結実 箱 (2004)	いそい まさみ 磯井 正美
		蒔醬 橘花創成盛器 (2006)	いそい まさみ 磯井 正美
		蒔醬 扇面文 箱 (2014)	いそい まさみ 磯井 正美
		蒔醬 梅花冬蝶 水指 (2004)	いそい まさみ 磯井 正美
		蒔醬 寿盡し 寿司桶 (2008)	いそい まさみ 磯井 正美
蒔醬 やぶこうじ 方盆 (1999)		いそい まさみ 磯井 正美	
彫漆 合唱之圖 硯管 (1954)	いそい じょしん 磯井 如真		
工芸(金工)	銅打出し羊之図小管	みよし まさなが 三好 眞長	

(6) 美術館ボランティアの活動

ア 美術館ボランティア

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア c i v i (シヴィイ)を設置し、平成11年度から活動を行っている(28年度登録者数17人)。28年度は、特別展のギャラリートークのほか「しびのーと」Vol. 33~34の発行、ワークショップのアシスタントなどの活動を行った。

イ ギャラリートーク

特別展	トーカー	開催回数	参加者数
コレクション展	美術館ボランティア	6回	112人
エッシャーの世界	美術館ボランティア	19回	378人
ヤノベケンジンネマタイズ	美術館ボランティア	19回	320人
高松コンテンポラリーアート・ アニュアル vol.05	美術館ボランティア	14回	135人
奇才・ダリ版画展	美術館ボランティア	13回	247人
北原千鹿展	美術館ボランティア	12回	66人
合 計		83回	1,258人

(7) 高松市美術館サポートショップ事業

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券（年間パスポート）を提示すると、参加店舗（147店舗）で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を実施した。

また、平成25年度からは、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入している。

2 高松市塩江美術館

高松市塩江美術館の利用者数 14,614人

(1) 展覧会

ア 開催展数 11展 (内訳 企画8展・常設3展)

イ 開催延日数 552日間

ウ 入場者延数 13,001人 (1日平均26.2人)

エ 主催展一覧

(ア) 企画展 開催展数：8展 開催日数：255日間 入場者数：6,283人 (1日平均24.6人)

展覧会名	会期	日数	入場者数	展覧会の内容
讃岐の情景展	2/27(土)～ 4/10(日)	※9日	※288人	江戸から昭和にかけて描かれた讃岐の名所・旧跡を題材とした5人の版画作品33点を紹介。
貴志 勉 －土のしごと－	4/16(土)～ 5/29(日)	38日	723人	“土を焼く”行為に意味を探し続ける東かがわ市在住の陶芸家貴志勉が土の持つ様々表情を表現した作品を15点を紹介。
玉木かつこ展 －Silentscape－	6/7(火)～ 7/18(月)	37日	764人	高知県在住の作家で、鉄と透明樹脂を主な素材としそこから生み出される存在感や目にみえない時間・空間を表現した作品17点を紹介。
LANDSCAPE －徳島彫刻集団と香川との交流－	7/26(火)～ 9/4(日)	36日	1,163人	徳島で戦後すぐに屋外彫刻展を展開してきた彫刻集団と香川の作家22名による交流展を開催。
上西竜二展 －Trial and Error－	9/10(土)～ 10/16(日)	32日	777人	本物と見間違ふほどのリアリティがある作風で描く岡山県在住の画家上西竜二の超写実世界を紹介。
かがわ・山なみ芸術祭2016 －塩江町エリア「時と共に」	10/29(土)～ 11/13(日)	14日	556人	第2回開催の山なみ芸術祭塩江エリアの参加作家の作品を紹介。期間中にイベントも開催。
生誕100年 市原輝士 ー伝承ー展	12/3(土)～ 1/22(日)	39日	1,038人	郷土史家として活動した故市原輝士の遺族の協力のもと残された資料などからその足跡を紹介。
塩江美術館コレクションより 日本の風景美展	1/28(土)～ 2/26(日)	26日	669人	当館コレクションから水彩を用いて、透明感のある表現で描いてきた香川県出身の伊東義久による水彩画作品30点を紹介。
春色-DIARY-展	3/4(土)～ 4/9(日)	※24日	※305人	香川県出身の作家が描いたやわらかく、晴れやかで、すがすがしい「春」を連想させる作品を館蔵コレクションから紹介。
		255日	6,283人	

※：前年度開催(日数区切り)又は、次年度開催(日数区切り)

(イ) 常設展 (3期) 開催日数：297日間 入場者数：6,718人(1日平均22.6人)

展覧会名	会期	日数	入場者数	展覧会の内容
平成28年度 第3期 熊野俊一・池原昭治二人展 こころのふるさと	12/5(土)～ 4/17(日) 1/26～1/29 閉室	※15日	※357人	高松市合併10周年を記念して、塩江美術館初代館長藤沢秋義著作『塩江の民話』に掲載している童画家池原昭治の挿絵原画と熊野俊一の西欧の冬の風景画あわせて約30点紹介。
平成28年度 第1期 熊野俊一が見たヨーロッパ	4/23(土)～ 7/31(日)	86日	1,656人	熊野俊一が、初めて訪れたヨーロッパの風景や色彩の鮮明さに魅了されて画風を確立した作品の中から34点を紹介。併せて、ヨーロッパから持ち帰った当時の資料を紹介。
平成28年度 第Ⅱ期 生きること、生きるもの	8/6(土)～ 12/18(日)	116日	3,104人	香川県内の作家15人が描く、人間の悲哀、生きとし生けるものの生命への尊厳などを様々な角度から表現した31点を紹介。
平成28年度 第Ⅲ期 光とその表現	12/23(金)～ 4/16(日)	※80日 (3月末)	※1,601人	作品の中に現れる物理的な光だけにとどまらず、作家による込められた希望や、光のように輝く存在感を描いた作品に注目し、当館コレクションの中から20点を紹介。
		297日	6,718人	

※：前年度開催(日数区切り)又は、次年度開催(日数区切り)

(2) 美術講座

平成28年度では、陶芸教室、風鈴作り教室、ワークショップ等の講座を開催した。

(ア) ワークショップ等

タイトル	開催日	講師	内容	参加者数
実験・create・ceramic	5/1(日)	貴志 勉	土のプレートを制作したものに、他の素材を融合させてオブジェ作品を制作。	7人
アーティストレクチャー 「制作の視点」	5/5(木)	貴志 勉	作家が取り組んできた作品制作について解説。	4人
アーティストレクチャー	6/12(日)	玉木かつこ	作家の作品制作に対する想いをレクチャー。	19人
金属で作るモビール	7/3(日) 10:00～12:00	玉木かつこ	錫やアルミを使って、モビールを制作。	16人
鋳造でアート	7/30(日) 13:00～15:30	中井弘二郎	減摩合金を使って鋳型に金属を流し込みアクセサリを制作。	6人
レクチャー 「徳島彫刻集団の軌跡」	8/11(木) 13:00～14:00	徳島彫刻集団 代表 松永勉	徳島彫刻集団の53年間の歩みを紹介。	25人
アーティストトーク	展覧会開催期間中の 毎週日曜日 13:00～14:00	出品作家13人	企画展出品作家による作品解説。	延べ63人
美術館で見つけた 不思議な生き物！	8/20(土) (2回) 10:00～12:00 13:00～15:00	居上真人	身近材や自然材を使って不思議な生き物を制作。	6人
アーティストレクチャー	9/25(日) 13:00～14:00	上西竜二	出品作家による作品解説。	28人
合 計				174人

(イ) 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容	参加者数
風鈴づくり教室	7/17・18	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。	延べ 38 人 (17 日 20 人) (18 日 18 人)
陶芸教室	5/14・21・28・6/11 6/25・7/16	田淵 太郎 (陶芸家)	全 6 回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。	延べ 96 人 (各日 16 人)
合 計				134 人

(ウ) 芸術的催し物

タイトル	開催月日	料金	内容	入場者数
音楽ライブ	7/3(日)	無料	尺八とバンジョー、スティールパンの楽器による音楽ライブ。 出演: Daniel Ryudo, Guy Christopher Wulfing, 前田多映、横田尚美	64 人
《室内コンサート》 フルートとピアノによる 音の風景画	12/28(水)	展覧会 観覧料	展覧会関連イベントで、フルートとピアノの親子競演によるコンサート。 出演: 大山まゆみ、大山宙透	84 人
《屋外コンサート》 音浴 BOSSA	9/24(土)	無料	塩江温泉感謝祭実行委員会主催によるボサノバコンサート。前庭芝生にて演奏 出演: フェリアート、SAPATOS	195 人
合 計				343 人

(3) その他

(ア) 貸館【企画展示室・ホール】

行事名	会 期	入場者数	内 容
第 3 回須藤和利・三原敏文 二人展	10/18～10/23 (6 日間)	297 人	徳島県在住の須藤と三原による絵画・彫刻作品を紹介。
戸田由美子写真展	11/19～11/27 (8 日間)	344 人	職業人物を被写体とした写真作品と関連物を展示紹介。
	14 日間	641 人	

(イ) 美術館の日 (8月6日)

入館者数及び参加者 321人

ワークショップ (子供から大人まで対象)

行事名	内 容	
シャボン玉アート	①シャボン玉を飛ばそう!	大きなシャボン玉や壊れないシャボン玉を飛ばして色彩の美しさを楽しむ。
	②シャボン玉で描く!	色付きのシャボン液で、紙の上で模様を描いて作品を制作。

(4) 美術資料の収集

(ア) 収集の方針

- (1) 香川県出身で県内外にゆかりのある作家の作品
- (2) 塩江にゆかりのある作家の作品
- (3) 塩江に関する資料等

(イ) 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入・寄贈して美術品の収集に努める。

(単位 点)

区 分		洋画等	日本画	彫 刻	工 芸	書	その他	計
平成28年度 取得作品	購入	—	—	—	—	—	—	—
	寄贈	17	—	—	—	—	—	17
累 計		665	7	10	13	119	451	1,265
内 訳	購入	46	—	4	7	—	1	58
	寄贈	619	7	6	6	119	450	1,207

*その他 (写真・熊野俊一資料・藤澤東咳関連書籍・芸術祭作品)

■新規収蔵作品

区分	種 別	作 品 名 (制作年)	作 家 名
寄贈	洋画 (平面・油彩)	「LA MER」シリーズ (4点)	えど けん 江戸 健
		「対応する時差の祈り」シリーズ (3点)	
		旅人は還らず (1978)	
		森の中の宝物 (不詳)	
		春はあけぼの (2000~2003)	
		ルクサンプール公園 (1982)	
		動くリズム (2005)	
		太 陽 (不詳)	
		望 郷 (1985)	
		裸婦デッサン (1) (不詳)	
		裸婦デッサン (2) (1996)	
	お昼寝 (不詳)	こばやししょうろく 小林正六	

平成29年度事業計画

平成29年度事業計画

～平成29年度高松市立美術館の運営方針～

「高松市立美術館運営方針」に基づき、「創造都市高松の文化芸術の拠点として、市民に必要とされ、かつ、市民を始め、国内外の人々に親しまれ創造性あふれる美術館」を目指し、「高松市の美術館としての独自性や創造性を生かしつつ効率的な運営」を進めていく。

<高松市美術館>

平成28年3月のリニューアルオープン以降、展覧会来館者数や貸館等の施設利用者数も増加しており、引き続き、内外の優れた美術作品の展覧会の充実、系統的な美術品の収集を進めるとともに、ワークショップや講座等、子どもたちが豊かな感性を育むことができる教育普及事業の充実に取り組んでいく。また、中心商店街に近接した都市型美術館という立地条件を生かし、地域との連携の強化により、まちづくりと一体となった取組を進め、都市機能の向上に寄与する美術館を目指していく。

加えて、平成30年の開館30周年記念事業に向けた準備として、プレ事業の実施や記念事業の開催準備を進めていく。

<高松市塩江美術館>

塩江温泉を有する山あいの豊かな自然に恵まれた環境に立地する美術館という地域特性を生かした、芸術・文化を楽しむ空間作りを目指し、展覧会の充実や地域に根ざした取組を進めていく。

また、老朽化（築23年経過）に伴う設備及び建物の改修に向けた実施設計を行っていく。

1 高松市美術館

(1) 展覧会・貸館

ア 特別展

展覧会名	会期	日数	内容
絵本のひきだし 林明子原画展	4/15～5/28	38日	ベストセラー絵本「はじめてのおつかい」が誕生して40周年、福音館書店の月刊絵本「こどものとも」が創刊60周年を迎える節目を記念して、宮城県美術館が所蔵する絵本作家・林明子の貴重な原画約150点に加えて、物語絵本とはひと味違う「赤ちゃん絵本」や「魔女の宅急便」に寄せた挿絵原画も展示。 また読書コーナーも用意し、子どもから大人まで楽しめる絵本展を構成するほか、「こどもアートスペース」では展示とリンクさせた活動を展開。
蜷川実花展	7/7～8/27	46日	鮮烈な極彩色の写真で知られる蜷川実花。「蜷川カラー」と呼ばれるその色とともに、アイドルやモデル、花々の輝きを捉えた作品が人気を博す一方、華やかさや幸福と隣り合わせにある歪みや澱み、衰退の影や死の気配さえも写り込む作品を制作してきた。その彼女の約7年ぶりの大規模な回顧展では、2010年以降の新しい作品・シリーズで構成され、彼女の仕事を総括して紹介するもの。

没後 45 年 鏑木清方展	9/9～10/15	32 日	明治から昭和にかけて日本画界で美人画の巨匠と謳われた鏑木清方(1878-1972)。その没後 45 年に当たり、挿絵画家として出発し、やがて本画制作に向かって、懐かしい市井の風俗を描き続けた鏑木の画業を回顧するものだ。京都の上村松園とも比較される鏑木の美人画の数々と共に卓上芸術含め、約 80 点で紹介する。
高松コンテンポラリー アート・アニュアル vol.06	10/22～11/26	31 日	瀬戸内国際芸術祭開催の 2010 年に、本格開催した「Vol.01」に始まり、今回の「Vol.06」は、将来性のある美術家たちの多様な美術表現を紹介する。会期中、アーティストトークやワークショップなど予定。
高松市美術館コレクション+ 「木村忠太とこぼれる 光のなかで」	2/17～3/25	32 日	高松出身の画家・木村忠太(1917-87)は、1953 年に渡仏すると、自らを「魂の印象派」と呼び、絵画で光を探求した。木村生誕 100 年及び没後 30 年を記念し、当館のコレクションから、木村はじめ「光」をモチーフにした作品を約 100 点を厳選し、現代を生きる美術家たちの「光をめぐる冒険」を紹介する。
5 展覧会		179 日	

イ 常設展

展覧会名	会 期	日 数	内 容
第 1 期	4/11～6/25	66 日	常設 1 Inspired—アイディアの源泉、イメージの継承 常設 2 蒔髷の世界—特集：磯井正美
第 2 期	6/30～9/24	76 日	常設 1 見るということ—ゼロ年代の写真と映像 常設 2 讃岐漆芸のいきものたち
第 3 期	9/28～12/24	76 日	常設 1[現代の美術] 私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある 20 世紀以降の世界の美術を順次展示。 常設 2[讃岐漆芸と金工] 玉楮象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。
第 4 期	1/5～3/25	68 日	※3/7～3/25 の期間は、常設展示室 1 において「第 35 回日本伝統漆芸展」を開催。
4 期		286 日	

ウ 講演会等の開催

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やエントランス・ミニコンサートなどを開催する。

エ 貸 館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー・講堂を提供する。

(2) 教育普及活動等

ア 美術講座

(ア) ワークショップ

地元講師や県外講師によるワークショップを随時開催する。

(イ) 子どものアトリエ

美術作家による連続の美術講座を開催し、子どもたちに学校の図画工作の授業とはまた違った環境での美術体験を提供する。

(ウ) アートで遊ぼう！

学芸員とともに特別展を素材に作品を「じっくり見る」鑑賞プログラムを行う。

(エ) こども+（こどもアートスペース）

リニューアルオープンにより新設された「こども+(こどもアートスペース)」を活用し、誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラム「ふらっとアート」などを提供する。

(オ) 館長講座「まぶさび教室」

館長による講座を前期・後期で各5回開催する。

イ 施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供する。

ウ 美術館学習

美術館展覧会の鑑賞教育等学校活動分野への積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習及び子ども未来館学習参加校のうち希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

(3) 美術館の日

多くの市民が集い、親しみ、にぎわう美術館となるよう、8月第1土曜日（8月5日）を「美術館の日」とし、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。

(4) 美術資料の収集・公開

美術品取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品の収集に努める。また、美術館の二次資料として美術図書および映像資料を継続的に収集するとともに、高松市収蔵品情報システムの活用等によりこれら収蔵資料の積極的な公開に努める。

(5) 美術館ボランティアの活動

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア（c i v i）によるギャラリートークを実施するとともに、子どものアトリエなどのワークショップの補助を行う。

(6) 高松市美術館サポートショップ事業

商店街等周辺店舗と連携し、会期中の特別展有料観覧券の半券、又は有効期間中の定期観覧券（年間パスポート）を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができ、また、美術館との相互割引を行う「高松市美術館サポートショップ」事業を実施する。

(7) 自己評価システム

(公財) 日本博物館協会の「博物館自己点検システム」を活用した美術館運営の自己評価について検討する。

2 高松市塩江美術館

(1) 展覧会

ア 主催展

展覧会名		会 期	日数	展 覧 会 の 内 容
1	春色-DIARY-展	※3/4(土)～ 4/9(日)	※8 日	香川県出身の作家が描いたやわらかく、晴れやかな「春」を連想させる作品をコレクションから紹介。
2	かがわ・山なみ芸術祭連携企画-時とともに- /AGAIN 井本英樹 ひび びびび展	4/18(土)～ 5/28(日)	36 日	坂出市を拠点に美術教育活動をされている井本が、日常の何気ない出来事を独自の視点とユーモアを交えて描いた作品約380点を紹介。
3	ーやさしい時間ー 豊田泰弘展	6/3(土)～ 7/17(月・祝)	39 日	豊田は、愛媛県在住の画家で、人々が日常の中でふと目にする車、食べ物などをモチーフに、懐かしく遠い記憶を呼び起させるような作品を制作。67点を紹介。
4	塩江美術館コレクション展 ー十人十色、色を楽しむー	7/22(土)～ 9/3(日)	38 日	当館コレクションの中から県出身の川島猛や四宮金一、小林正六など現代作家による色使いの違いや色という視点から美術作品における色の魅力を探ります。作品29点を紹介。
5	第31回 思可牟展	9/12(火)～ 10/22(日)	36 日	美術グループ「思可牟」は、京都市立芸術大学卒業生で結成。今展では、グループ結成31年目を迎えた同大学出身者たちの異なるジャンルの作品を一堂に会し紹介。
6	写真集「うさぎガールと黒縁眼鏡」 出版記念 所幸則展ー原点回帰ー (仮称)	10/31(火)～ 12/10(日)	36 日	世界的に活躍する写真家 所幸則。今展では、写真集『うさぎガールと黒縁眼鏡』の出版を記念し他の作品と同様に“時間軸”をテーマにし、地元高松の見慣れた風景に少女(娘)が、光に向かって飛び跳ねる姿から、作者自身の人生の時間的概念というものが、家族(娘)をとおして写し出された作品を紹介。
7	未定	12/16(土)～ 2/4(日)	39 日	未定
8	未定	※2/10(土)～ 3/25(日)	※38 日	未定

※：前年度開催(日数区切り)又は、次年度開催(日数区切り)

イ 常設展

熊野俊一作品や川島猛作品など収蔵品の中から、展示テーマを設け、年3回の展示替えにより紹介する。

展覧会名	会 期	日数	展 覧 会 の 内 容
平成28年度 第Ⅲ期 光とその表現	※12/23(金)～ 4/16(日)	※14日	作品の中に現れる物理的な光だけにとどまらず、作家による込められた希望や、光のように輝く存在感を描いた作品に注目し、当館コレクションの中から20点を紹介。
平成29年度 第Ⅰ期 江戸健／色彩のシンフォニー	4/22(土)～ 8/6(日)	92日	平成28年度新収蔵品から香川で精力的に活動されていた江戸健の作品約20点を紹介。
平成29年度 第Ⅱ期 耳をすませば	8/6(土)～ 12/18(日)	116日	収蔵作品の中からテーマに沿った作品を紹介。
平成29年度 第Ⅲ期 未定	※12/23(金)～ 4/9(日)	※93日	収蔵作品の中からテーマに沿った作品を紹介。

※：前年度開催(日数区切り)又は、次年度開催(日数区切り)

ウ 教育普及活動等

陶芸教室、風鈴づくり教室に加えて、企画展に合わせたワークショップ等を開講する。

タイトル	開催月日	講 師	内 容
風鈴づくり教室	7/22・23	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。
陶芸教室	9/9・16・23・30 10/7・21	田淵太郎 (陶芸家)	全6回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。

エ 芸術的催し物

企画展に関連したコンサートや公演を開催する。

タイトル	開催月日	料 金	内 容
愉快的音楽イベント ひび ひびひび 音楽と語り	4/29(土)	展覧会観覧券が必要	展覧会関連イベントで、ジャズとおはなしによる展示作品とのコラボレーションコンサートを開催。

オ 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供する。

カ 美術館の日

多くの市民が美術館に親しみ、子供たちに豊かな心を育んでもらえるよう8月5日を美術館の日(8月第1土曜日)とし、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。

行事名	内 容
風のアートモビールをつくろう!	花びらや色用紙などをラミネートして、風で揺らめく、涼しいモビールづくりをします。
ミストスプレーマジック	色絵具の入った霧吹きを紙に吹き付けて、作品制作をします。

3 平成29年度予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分			29年度	28年度	対前年比
使用料及び手数料	使用料	美術館展覧会等観覧料	30,628	34,646	88.4%
		リニューアルオープン記念事業展覧会等観覧料	0	1,248	—
		美術館使用料	13,329	12,981	102.7%
	手数料	美術品等撮影許可手数料	28	28	100.0%
財産収入	財産運用収入	基金運用収入	2	2	100.0%
	財産売払収入	物品売払収入	1,425	2,270	62.8%
繰入金	基金繰入金	塩江美術館美術品等取得基金繰入金	550	0	—
諸収入	雑入	社会教育費収入	3,452	3,248	106.3%
市債	市債	美術館管理債	3,000	0	—
計			52,414	54,423	96.3%

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	29年度	28年度	対前年比
美術館運営費	26,089	29,192	89.4%
美術館管理費	108,283	106,736	101.4%
展覧会費	65,702	78,146	84.1%
美術教育普及費	1,351	1,691	79.9%
美術資料収集費	12,776	23,619	54.1%
塩江美術館美術品等取得基金積立金	2	2	100.0%
リニューアルオープン記念事業費	0	3,372	—
開館30周年記念事業費	627	0	—
計	214,830	242,758	88.5%